

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

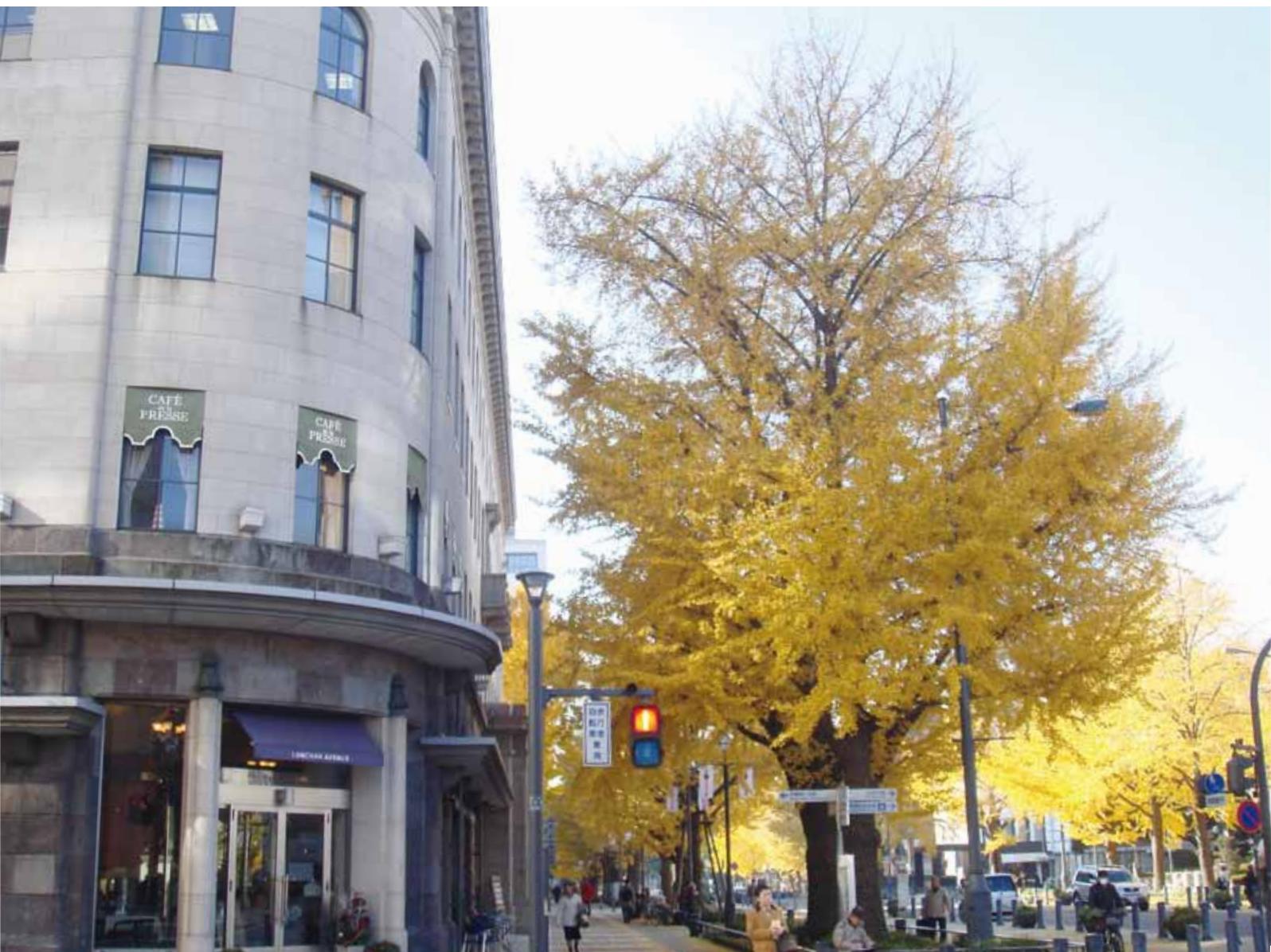
<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



11

November, 2020
vol. 429

動き出したコロナ禍での活動



Contents

建築探訪（木材会館のディテール）	01
会員仕事紹介（生田保育園）	03
支部だより（横浜支部—支部活動・県西支部—耐震相談）	05
旅行記（京都、滋賀）	07
委員会活動報告（マンション等の大規模修繕特別委員会）	09
編集者のつぶやき（あいたくて あいたくて 切なくて）	10

木材会館のディテール

サイプラス
株式会社SAIplus建築設計事務所 仙波 弦

コロナ渦の中、ようやくどこかに行ってみようかという兆しが出てきた事は良かったと思います。外出してゆっくりと建築を訪問する機会がほとんど無くなっていましたが、以前、支部の研修で「木材会館」を訪問しましたので、ご紹介させていただければと思います。



■建物概要

木材会館（東京都江東区新木場）
平成21年7月竣工
鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 一部木造
地上7階、地下1階建て
外壁：RC打放しFUC塗装、木壁
設計：(株)日建設計
施工：大成建設(株)



【通りに面する建物名称のサイン】

金属板の切り文字を積層させて立体的にしており、オシャレで細かいところまでこだわりが冴えていると感じます。



【杉板の型枠によるコンクリート外壁と木材の組み合わせ】



建物の内容等は資料がたくさん公表されていますので、今回は少し偏りのある私見での感想をご紹介します。

外装は杉の板目を映し出すコンクリートと木の組み合わせが特徴的で、とてもリズムカルで美しいラインを組合わせた構成になっています。この外装を見ながら杉板目の打放しを自分の関わる物件でもいつかやってみたく感じましたが、おかげさまで最近、機会に恵まれ、木材との組合せの風合いには及びませんでしたが実現することができ、個人的にはひっそりと、うれしく感じております。



避難検証法によって規定を満たした建物となっているとの事で、建物内の天井には所々写真のような煙だまりを確保していました。煙だまりも格子状の木材と間接照明によって、綺麗に設えてありました。

また、煙だまりを利用して空調の吹き出し口を配するなど、細かい部分にまでデザインが深く検討されていると感じます。

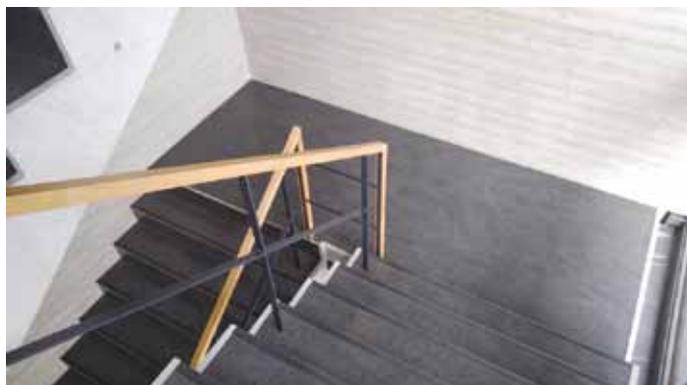


【煙だまりに配した空調の吹き出し口】

木材を梁型のように仕上げで煙だまりをつくっている。空調の吹き出し口を配しており、全体的に統一感を出していました。

【天井の化粧材の奥に配した吹き出し口】

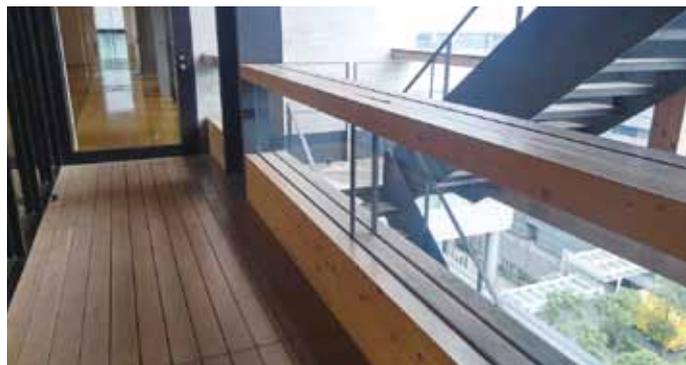
ホールなどは天井の化粧材の奥に空調の吹き出し口を設置し、目立たない場所に配する事でスッキリとした空間になっていました。



階段も全体的に心地よい色づかいで、木とスチールの組み合わせや、コンクリートと床材のコントラストなど綺麗なデザインとなっています。各所ディテールが非常に勉強になりました。



外部階段周りは縁側のような空間です。木材とコンクリートとスチールの組み合わせ、色彩に加えて、外気を感じられるような落ち着く場所になっており、特徴的な外観を創り出している場所にもなっています。手摺の納まりもきれいです。

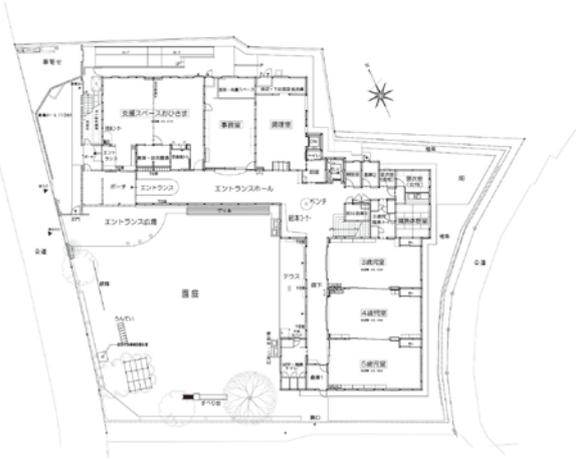


最後に受水槽です。なんと木製です。ここまで木にこだわるものかと、執念のようなものを感じました。こだわりは大切だと感じた日になり、見学後は屋形船で東京スカイツリーの見学もでき、充実した一日となりました。

生田保育園

株式会社アービア設計事務所 白石 巖

川崎市で初の公立木造保育園として生田保育園が2019年11月に竣工した。弊社が設計プロポーザルにおいて最優秀者に選出されたコンセプトは「木くぼりのすすめ」。木は、利用されることで森が生まれ、また建物に木が利用されることで人間の健康も育まれる。全国各地から集められた木材を室内外にふんだんに配置することで、子どもが過ごす場所として心理・情緒・健康・衛生に優れた効果をもたらすことを実現した。また、環境性能にも配慮し、省エネ性能ではBELS★4つ（一次エネルギー消費量39%削減）を獲得した。



3

○在来軸組工法とトラスを用いた構造

構造は、住宅建設に従来用いられる在来軸組構法を採用することで、プレカット技術による加工が可能となり、コストと作業削減が可能となった。また、資材搬送を考慮し、流通材を利用できる構造計画を行うことで、国産材の利用率が約90%（構造材）という高い水準を達成した。



○内装計画による省エネ性能向上

滞在時間の長い保育園では、室内環境の快適性を向上させ、冷暖房設備の消費エネルギーを下げることで、高い省エネ効果が得られる。室内は、消費電力の少ないシーリングファンを設置し、またトップサイドライトから自然対流を生み出すことで、自然風で過ごせる時間を長く維持することに寄与した。断熱計画は、木材の保温性を生かし、高断熱によって躯体の熱的性能を最大限高めることにより、設備負荷を抑えた。断熱設計は、基礎断熱、壁内断熱（ロックウール105mm）+壁通気、屋根断熱（ロックウール250mm）+屋根通気とした。また、窓には、断熱性の高い樹脂サッシ+Low-eガラスを用いることで、高断熱高気密とともに結露対策を行った。

今回は省エネ適合性能判定のほかに、BELSを用いた第三者機関の認定を受け、★4つの評価となった。これにより、誘導基準値を超える省エネ性能であることがアピールできるようになった。

○最大限の木質化をはかるために

木材を使ったことを最大限に生かすために行ったポイントは以下の3つとなる。①外部からも木質化が見えるように外構外壁デザインにも木材を利用したこと。②構造体である木材をデザイン要素として効果的に見える化を図ったこと。③天井に準不燃材を用いることで、内装制限緩和措置が適用され、室内壁についても最大限の木質化を行ったこと。木材使用量は、川崎市の目標値木質化率の0.008m³/m²をはるかに超えた0.217m³/m²を達成した。



4

<建物概要>

建築主 川崎市
 面積 敷地面積1679.24m²
 建築面積 677.29m²
 延床面積 978.48m²
 構造 木造地上2階
 用途地域 第一種低層住居専用地域
 防火地域 なし(法22条地域)
 高さ制限 第一種高度地区
 基礎形式 布基礎
 耐火種別 準耐火建築物(45分イ準耐)
 高さ 最高高さ7.88m 軒高さ6.84m
 用途 児童福祉施設等(保育所)
 収容人数 90名
 設計監理 株式会社アービア設計事務所 白石巖
 構造設計 株式会社アービア設計事務所 白石梢
 設計協力 松本克則(電気)、三寺利博(機械)
 竣工年月 2019年11月



掲載されている建物は、会誌『日事連』10月号 P32.連載省エネレポート第19回「木造保育園における省エネへの取り組み」にも紹介されています。併せてご覧ください。

横浜支部だより

今年度の横浜支部の活動は、新型コロナウイルスの影響で大きく変わりました。

4月の定時総会は会員の集まりを中止し、書面表決となり、予定していた記念講演も中止。また、支部の研修旅行も日事連の全国大会に合わせて計画予定でしたが、全国大会自体が中止となり、計画も無くなってしまいました。

そうした中、オンライン会議の有効性について早い段階で正、副支部長で実証実験(オンライン飲み会)を行い、役員会、委員会での活用を積極的に行なうようにし、本会からのオンライン講習会にも積極的に参加するよう働きかけました。



新市庁舎外観

副支部長 梅原建築設計事務所 梅原 義信

実際には本会から出された「机の隅に」を支部会員全員(253名)に配り、Zoomでの講習参加を呼びかけ、「災害時相談員のための勉強会(4回シリーズ)」においても支部会員全員の受講料をカバーし、Zoomでの講習会参加を呼びかけています。

横浜支部の委員会活動では、毎年恒例の「しごと展」について複数回、Zoom会議を開き、まずは会場をいつも使用しているサブウェイギャラリーではなく、今年完成した注目度の高い横浜新市庁舎のギャラリー、アトリウムでの開催とし、巨大なアトリウムでは、新市庁舎の設計者、あるいは工事関係者に講演してもらえないか等検討しています。



新市庁舎アトリウム

また、広報・企画委員会もZoom会議を開いています。広報・企画委員の活動は大きく2つがあります。一つは年2回発行している広報誌「よこはま」の企画、発行。今年発行の夏号では各ブロック長にブロック活動の現況や今後について書いて頂きました。(横浜支部は13の地区、そして5つのブロックからなっています)そしてもう一つは、ホームページです。ホームページは情報を会員と共有するには

特に重要で、会員登録票の内容検討と再募集、組織図や会員リストの見せ方等、色々と工夫している所です。この広報誌は行政等の挨拶には欠かせないものであり、ホームページは新規開設者の支部の紹介に有力なものとなっています。

先の見えないコロナ禍、オンラインでの役員会、委員会、そして広報誌やホームページの役割はますます重要になってくると考えています。



横浜支部組織図



会員の登録票

県西支部地域貢献(耐震相談)16年の歩み

事業部会長 一級建築士事務所株式会社アーキテクトホンダ 芝 京子

平成12年の建築基準法改正や品質確保の促進等に関する法律の施行など、制度の整備及び技術に基づき、平成16年国土交通大臣認定の「木造住宅の耐震診断と補強方法」が発行されました。また、国の方針により各市町村は市民に向けて、耐震診断及び耐震補強の推進を始めました。

平成16年当時、県西支部の支部長を仰せつかった立場上、市民の耐震診断・補強等への関心を促すため、各行政に耐震相談会を提案し、ボランティアとして地域貢献活動を始動致しました。市役所のホール、会議室、自治会館、公民館等にお集まりいただき、簡易診断を行います。

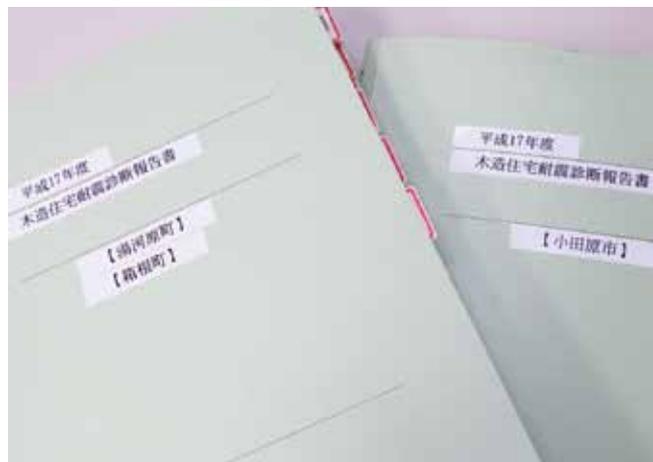
当初、多数の希望者がいらっしゃって昼食もままならないという事もあり、懐かしい思い出です。平成17年小田原市・箱根町・湯河原町、平成18年からは南足柄市、その後真鶴町・松田町・山北町・

大井町・開成町と順次展開されます。

平成17年当時、ボランティア参加者は、100名近い会員のうちの5名でした。現在では、会員数41人のうち、17名の会員が頑張っています。

耐震セミナー・防災訓練・町民祭り・産業フェア等に設けられた建築相談コーナーで模型やパネル、耐震金物等の説明や、現在の県西地域における地震の現状や情報等、市民の皆様が命を守る家の安全に対してより一層興味をもって頂くように、県西支部一丸となって活動しております。

耐震関係以外に、空き家対策調査・ブロック塀調査等着手いたしますが、振り返ると16年、今日まで長いようでもあり、短いようでもありました、あつという間の時間の流れの中での県西支部の地域貢献事業をご紹介させていただきました。



初年度 平成17年度の診断報告書のファイル



小田原市耐震セミナー



開成町耐震相談会



南足柄市産業フェア

旅行記（京都、滋賀）

木造専門委員会（伝統工法部会）

一級建築士事務所 有限会社 内田工務店 内田 幸夫

現在施行中の茶室新築工事の設計事務所が京都にあり、打ち合わせと材料の仕入れのために京都に行くことになりました。コロナ自粛の真っ只中ではありましたが、勉強も兼ねて少し旅気分も味わおうということで、8月7日(金)～8日(土)に夫婦で京都、滋賀へ出かけてまいりました。

旅の第一の目的はあくまでも仕事。材料の運搬のために移動は小型のトラックです。GoToトラベルが始まった頃でしたが、世間では自粛警察なるものがはびこっている状況でしたので、私はもちろん妻も旅の間ずっと作業着でした。（当人は「一番のお気に入りの服だし動きやすくて良い」と申ししておりました）

6日の夜中に出発し、7日の早朝には京都に到着。京都市内の大学に通う娘のアパートで仮眠をとり、打ち合わせに。その後、設計事務所の紹介で茶庭専門の庭師さんを訪ね根石を選定。真黒石の良い根石が手に入りました。銘木屋さんで材料を積込み、業務は完了。ホテルへと移動しました。

宿泊先は、下京区にある京都高瀬川別邸。最近新築されたばかりの町屋風のホテルです。和を基調とした内外装で、客室ごとに設置された檜風呂の良い香りに癒されました。とても雰囲気の良い宿でしたがやはりコロナの影響は色濃く、私たちの宿泊した夜は明かりが灯っている部屋が数えるほどでした。コロナがなく、オリンピックも開催されていたら予約が取れないくらいの人気であったのかもしれませんが。

夕食は宿から歩いて行ける場所にある焼肉屋さんへ。京町屋を改装し、昭和の雰囲気を残した洒落た焼肉屋さんです。店内の看板がツボにはまりました。「仕事のできる男の三原則 悪い 黒い」（笑）。関東とは違った呼び名のお肉や付けダレもまた楽しく、おいしい料理とお酒を頂戴し、宿へ戻り就寝。運転の疲れもあり、ぐっすりと眠りにつきました。

翌日は、この旅のもう一つの目的である石山寺へ。実は、昨年(2019)の天皇陛下御即位にあわせ、この春、秘仏である御本尊様の御開帳が行われると

のことで楽しみにしていたのですが、コロナによる移動制限で旅行はもちろん、関西への出張も全てなくなってしまい諦めていたのですが、調べてみたところ、なんと御開帳が8月10日まで延長となっているとのこと。石山寺へはこれまでに数回参拝をしたことがありますが、御本尊様を拝見するのは今回が初めてです。

国宝の本堂内陣の参拝通路を進むと、手が届くくらいの距離に御本尊様が。そのお姿は想像以上に大きく、迫力があり、みなぎるパワーを感じるものでした。有難く、家族の身体健全とコロナ禍の終息をお祈りさせていただきました。

名建築物の宝庫である石山寺ですが、日本最古にして日本一美しいとされる多宝塔（国宝）は本当に何度見ても美しく、私もいつか多宝塔を建てたいという思いを改めて強くした次第です。

今回、幸運にも石山寺の御本尊様の御開帳に間に合う形で京都での仕事が入り、以前より参拝したいと言っていた妻も願いが叶って大変に喜んでおりました。次の御開帳は令和31年です。次回も参拝出来るよう、健康に留意し精進しなければと思う所存であります。



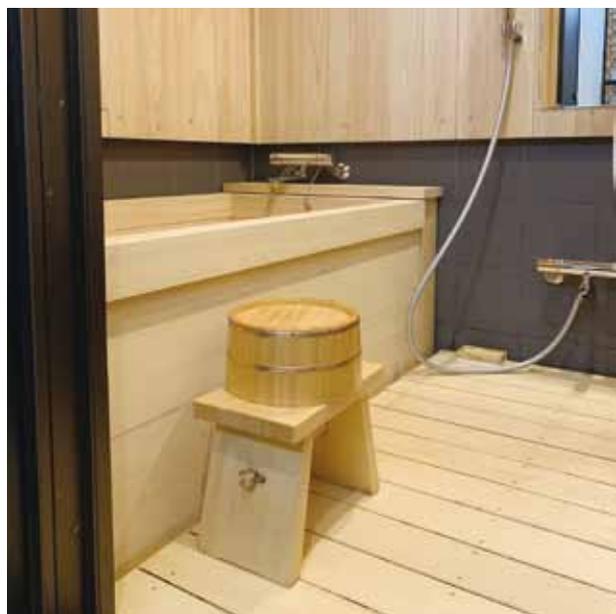
京都で調達した真黒石の根石



現在新築中のお茶室仮組の様子



焼肉屋の面白い看板



檜の香り漂う檜風呂



町屋の雰囲気のあるRC造新築の宿



国宝 石山寺多宝塔



懸造りの国宝 石山寺本堂

委員会活動報告

マンション等の大規模修繕特別委員会 活動だより

川崎支部 (有)ノマド代表取締役 永島 優子

平成30年度に実施された「川崎市団地型マンション工事見学会」では、弊社が設計・監理しているマンション大規模修繕工事を見学していただきましたが、その大規模修繕工事が、このたび、今年7月に(一社)マンション計画修繕施工協会が主催する「第10回マンションクリエイティブリフォーム賞」を受賞しました。設計者、施工者共に神事協の会員であり、使用している建材、工法についても、神事協賛助会メンバーの方にご協力いただき、完了した工事です。あらためて、設計および工事内容をご紹介します。いただければと思います。

改修前



改修後



建物概要

マンション名：白幡台住宅

所在：川崎市宮前区

規模：RC造5階建て16棟 住戸数：544戸+6店舗

竣工：昭和46年～48年川崎市住宅供給公社分譲

9

工事概要

- ・ 工事名称「白幡台住宅第4回大規模修繕工事」
- ・ 工期平成30年6月1日～平成31年2月28日
- ・ 設計監理者 (有)ノマド：川崎支部所属会員
- ・ 施工者 建築工事：(株)大和：川崎支部所属会員+賛助会
雑排水管更新工事：タマガワ(株)：賛助会

設計内容(協力賛助会)

- ①外壁改修⇒ピンネット工法・シーリング：コニシ
- ②外壁塗装⇒ 塗装改修：エスケー化研
⇒アスベスト対処：小田原鉱石・ThreePeace
- ③腰窓手摺更新⇒横浜三協
- ④バルコニー・階段室床改修⇒長尺塩ビシート(複合防水)：ダイフレックス・タキロンマテックス
- ⑤雑排水管更新⇒タマガワ

見学会の開催 平成30年10月11日



会報KANAGAWA電子版で、詳しい内容を動画で紹介しています。
(前編は11月初に公開、後編は12月中に公開予定)

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 YouTube

<https://www.youtube.com/channel/UCYQbfB2G2zwop50GZgC57qw>

会員動向	
9月入会者	
横浜支部	
ナイスプレカット株式会社一級建築士事務所 〒230-8571横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 TEL.045-503-6433 FAX.045-503-4566	立花 伸之
横須賀支部	
合同会社 戸井田設計 〒238-0046横須賀市西逸見町2-90 TEL.090-7242-5689	戸井田 顕
10月入会者	
横浜支部	
シバタホームサービス 〒220-0031横浜市西区宮崎町3-1-302 TEL.045-263-0734 FAX.045-350-6934	柴田 香代子
退会者	
横浜支部	
ナイスユニテック(株)一級建築士事務所 株式会社anela企画一級建築士事務所 ガリュウ建築設計事務所	大麻 穰 石野 貴史 金子 泰夫
川崎支部	
田中宏昌建築設計事務所	田中 宏昌
変更	
横浜支部	
一級建築士事務所株式会社神奈川建物リサーチ・センター (指定代表者変更) 後藤 光悟	
川崎支部	
株式会社興建一級建築士事務所 (指定代表者変更) 鳥羽 貴仁	
横須賀支部	
一級建築士事務所小山将史建築設計事務所 (事務所所在地、TEL変更) 〒221-0822横浜市神奈川区西神奈川2-1-2 Mビル202 TEL.045-534-3631	
鎌倉支部	
有限会社清田育男計画設計工房一級建築士事務所 (指定代表者変更) 永利 鈴美子	

支部名	令和2年10月15日現在				
	令和2年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	255	252	7	10	-3
川 崎	104	102	1	3	-2
横 須 賀	51	53	2	0	2
湘 南 三 浦	16	16	0	0	0
藤 沢	34	34	0	0	0
鎌 倉	40	39	1	2	-1
茅ヶ崎寒川	16	16	0	0	0
平 塚	23	23	0	0	0
秦 野	14	14	0	0	0
伊 勢 原	6	6	0	0	0
大和綾瀬	19	19	0	0	0
厚 木	28	28	0	0	0
座 間	13	13	0	0	0
海 老 名	16	16	0	0	0
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	65	65	0	0	0
県 西	40	41	1	0	1
合 計	746	743	12	15	-3
賛助会員	104	104	0	0	0

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

あいたくて あいたくて 切なくて
 あなたにあえるような気がして浜辺でぼんやりと海を眺めていました
 まもなく身体がふうわりと浮き上がり、空にほんの少し近づきました
 波の音を聴きながら砂浜を浮遊していると空を眺めるあなたと目が合いました
 が、一瞬何者かに遮られて真っ暗になりました
 気が付いた時にはあなたがわたしの傍にいました
 - 桜色の恋人たち



7月に自宅兼事務所を移転しました。
 移転前は海から徒歩3分
 移転後は海から徒歩1分
 たかが2分されど2分
 海岸を散歩する機会が格段に増えました。
 不要不急の外出を控えるべき状況も大きく影響しているのかもしれませんが。
 海岸散歩中に砂浜でみつけた桜貝を手にとって空にかざしてみました。
 透き通った桜色がより一層輝きを増したようでした。
 歩みを進めるとさらに大きな桜色の貝を発見。
 恋人同士に見立てました。

(鎌倉支部 アトリエ空庵 中原 尚代)

KANAGAWA 令和2年11月号 (通号429号)

発行 令和2年11月1日 (奇数月1日発行)
 発行人 白井 勇
 発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
 TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

- ・担当副会長 大和田 優
- ・広報情報委員長 杉本 勝郎
- ・広報情報副委員長 加藤 一郎
- ・広報情報委員 雨森 隆子 有泉 絵美 赤川 真理
- ・ 小山 将史 中原 尚代
- ・ 小井口 英寿 仙波 弦
- ・事務局 久保田 千尋



今月の表紙

日本大通り

横浜港郵便局より見た、秋深まる日本大通り。日本大通りは、横浜公園から横浜港まで、一直線の並木道で、沿道には、歴史的建造物が数多くあり、異国情緒ある港町横浜を感じる場所です。

この日本大通りは、1866年の慶応大火（豚屋火事）をきっかけに、日本人町と外国人居住地を隔てる防火通路として造られ、なんとその幅36m!! いつも何気なく歩くこの大通りにも、歴史があります。

角の建物は、横浜情報文化センター（旧横浜商工奨励館）、ひととき存在感があり、横浜市認定歴史的建造物です。1階には、お洒落なレストラン、カフェがあり、建物角に位置する洋食店「ランチャニアヴェニュー」は、懇親会等で何度も利用し、美味しい食事を楽しんだレストラン、コロナの影響で、20年の歴史に幕が下ろされ、9月末閉店。食欲の秋、お気に入りのお店がなくなり、残念でなりません。



一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
Kanagawa Architect Office Association